

# 佐田まちづくりだより

第154号

暖冬? いやいや、寒いでしょ。17日には雪がちらつくは、風はビュービュー吹き荒れるは、本当、急に冬。まあ、これが普通だったんでしょけど。地球も生きて、その途轍もない時の一瞬を私たちは生きて。とてもかなわない。そして当たり前のごとく歳は暮れ、新たな年を迎える。そう、もう師走。って、忙しい!! うわー! 締切りが迫ってる!! とにかく、皆様、風邪をひかないように。

## トリニー田農業クラブ完結!! 交流会開催



スマホでカラー版を  
見ることが出来ます

した連携協力協定(六月八日、佐田小学校にて締結式)に基づき始まった、佐田小学校と大分トリニータとの農業体験交流事業。

田植えから稲刈り、収穫したもち米、加工品の販売まで三度にわたり事業を展開してきましたが、その完結編として、一月一日、ふれあい交流会を開催しました。

せっかくの機会ということで、町内の小学校にも声をかけ、津房、深見両小学校の四年生から六年生の児童も参加してくれました。

販売活動で得た収益の一部を活用し、各校へサッカーボール、佐田小学校にはミニサッカーゴールも加えてプレゼントしました。

その後、トリニータの松本 怜(CO)、高橋 祐翔、佐藤 文晟選手、そしてニータの他沢山のスタッフの方

今年六月に宇佐市と大分トリニータで締結

とのふれあい。ジュニアチームの指導をしているということもあって、子供たちの心を掴むのがうまい!!

子供たちは吸い込まれるようにゲーム等に没頭し、四〇分という時間は瞬く間に過ぎました。

子供たちの溢れる笑顔に充実感を覚えました。

最後は全員そろっての記念撮影、ハイ、チーズ。

いつもの「こびり」も大絶賛でした。

大分トリニータとの農業クラブ事業を通じて、子供たちには当初の目的である農業の楽しさ、喜びを感じるとともに、交流会を通じて、スポーツの楽しさを味わい、大分トリニータを身近に感じてもらい、子供の健全育成と地域の活性化の相互発展に寄与できたことと確信しています。

本事業に携わってくださった沢山の方々、お疲れ様でした。本当にありがとうございました。



佐田まち協 絆 トリニータ

感謝 記念撮影 完結



↑ ミニサッカーゴール  
← こびりは大好評、きな粉餅



# 新年を迎える準備が出来ました

今年の締めくくり行事、門松づくりには先駆け一二月四日、阿部善浩さん、奥さん、斎藤茂さん、松木栄一さん、松裏協力隊員、榎本佐田小校長先生に力をお借りし、平ヶ倉から竹を切り出し、長さを切り揃え、半分に割く作業をしました。

前日には佐田温泉裏で熊笹を採取させていただき準備完了。

そして迎えた制作当日の一五日、曇天に少し雨も混じる空模様にも、大丈夫かなと落ち着きません。

そんな中でも、斎藤茂さん指導の下、着々と組み立てられていく二対の門松。昼の合図を聞く前には完成一步手前、あとは佐田小児童による飾り付けを残すところまで。

午前中、児童たちはテストと格闘し、それを終えた気持ち代弁するかの如く空は晴れて太陽の光が射してきました。

高学年が下級生の世話をし、熊笹を飾付けて完成。



今年最後の「まちづくりだより」も完成しました。振り返ると今年も色々な事がありました。それを支えてくださったのは、やはり地区の方々でした。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。来年もよろしくお願いたします。くる年が皆様にとつて幸多き年となりますように。では、良いお年を。

事務局



## 行ってきました

佐田時代めぐりウォークの時など「さげもん」を飾り付け、花を添えてくださる「たん屋」でクリスマス展がありました。私も最終日の一二月八日にお邪魔させていただきました。

「うさぎ娘」のメンバーが丹精込めて作った沢山の作品に見とれてしまいました。

メリークリスマス



「たん屋」…佐田の賀来誠一さん方が自宅の一部を開放するコミュニティサロン  
「うさぎ娘(こ)」…共通の趣味を持つ、賀来タカ子さん、大隈康子さん、隈田由美子さん、佐田くるみさんの4人グループ

## 詐欺被害防止

先日、津房駐在所の高倉さんから防犯指導を受けましたので、皆様にも紹介します。年の瀬に便乗して何かと犯罪が多発します。特に特殊詐欺には注意してください。

犯人は巧みに罠を仕掛けてきます。私は大丈夫：が命取りです、もし不審な電話があったら、慌てずに、「たこのおすし」を思い出して下さい。

思い出そう! 電話口お金の話それは詐欺!

**たこのおすし**

たしかめて  
こどもの声と違うかも  
のっちゃだめ  
お金やカードは渡さない  
すぐ出ない  
しらない番号は留守電で

iPhone Android  
少分被害者 マスコットキャラクター まちるくん  
少しでもおかしいと思ったら、家族や警察に相談しましょう。